

## 座間市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する決議

我が国には、家族や地域社会の絆を何よりも大切にする気風が昔からあり、近隣に居住する市民が互いに助け合い、支え合うことが地域社会の基盤となってきました。

しかし、昨今、社会生活・生活様式の変化の中で、高齢者の孤独死などに見られるように、家族や地域社会の絆が弱まり、人と人とのつながりが希薄になり無縁社会と言われる現象が座間市でも見受けられるようになってきました。こうしたことを背景に、自治会や子ども会の加入率の低下、町内会行事、社会福祉活動、防災・防犯活動など地域社会の活動への参加者の減少が見られるようになりました。一部の住民のボランティア活動や住民団体の自主的な活動が見られますが、全体として、地域社会の基盤が弱まっています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、東日本を中心に甚大な被害をもたらしました。一方で、被災した方々の秩序正しさ、冷静さや共助の精神に満ちた態度が国際的にも称賛されるとともに、私たちが本来持っている家族や近隣住民が互いに助け合い、支え合うという地域社会の基盤の大切さを改めて強く認識させることにもなりました。座間市においても、市民が自らできることは、自ら行うことを基本としながら、地域的な課題や社会的な課題に協働して取り組むことがさらに求められています。

よって本市議会は、市民が主体的に行う地域活動を促進することにより、もって地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進することを目指します。

以上、決議します。

平成24年2月24日

座 間 市 議 会